

市民と野党の共闘を強めよう 菅政権の大軍拡を許さず打倒へ 安保中央 オンライン常任幹事会(11/12)

安保破棄中央実行委員会は11月12日、東京・文京区の全労連会館で、常任幹事会をオンラインで開き、当面のとりくみについて確認しました。

報告した東森英男事務局長は、学術会議への人事介入や憲法改正、敵基地攻撃能力保有の推進など、菅政権を批判。大軍拡と日米軍事一体化を許さない運動の強化などを強調

し、総選挙にむけた市民と野党の共闘を強く押しすすめ、菅政権を倒すたかひが重要であると訴えました。

当面のとりくみでは、沖縄・辺野古新基地建設や馬毛島の軍事基地建設、木更津などへのオスプレイ配備に反対し、日米地位協定抜本改定を求めることなどを提起。具体的には、11月16日の「馬毛島への米軍施設を許さない市民・団体連絡会」の政府交渉・院内集会、21日の日本平和大会、22日の東京・横田集会、11月25日の日米地位協定改定を求める署名提出とシンポジウム、12月4日の『「敵基地攻撃能力」と大軍拡に反対する学習会」などを確認しました。

討論では、鹿児島・馬毛島の軍事基地化問題や木更津オスプレイ配備反対、市民と野党の共闘の重要性などが訴えられました。常任幹事会には、10団体13名が参加しました。



6日、ホバリングする陸自オスプレイ

陸上自衛隊木更津駐屯地（千葉県木更津市）に暫定配備された輸送機オスプレイをめぐり、防衛省の石川武報道官は10日の記者会見で、同日に予定していた駐屯地外への飛行を取りやめたことを明らかにした。石川氏は「警告表示がディスプレイに出たので、具体的に何が問題だったのかを改めて点検している」と述べた。暫定配備中の2機のうち1機が6日、駐屯地内でホバリングを行い、試験飛行を開始した。陸自によると、10日は同機が駐屯地内でホバリング中に警告灯が点灯。東京湾南部などでの飛行を中止し、点検作業を進めている。陸自幹部は「安全性を含めて所要の機能、性能を発揮できるかを確認するのが試験飛行の目的の一つ。追加の点検項目が発生したら適切に対応する」と強調。駐屯地外への飛行時期は11日以降で調整している。

千葉 木更津

陸自オスプレイ、警告表示
初の駐屯地外の訓練中止

共同通信
11/11付
記事より

辺野古の美謝川の水路変更でボーリング調査

沖縄防衛局が、名護市辺野古の新基地建設に必要な美謝川の水路切り替え工事に向け、辺野古ダム周辺などでボーリング調査に着手していたことが2日までに分かった。防衛省によると、調査は切り替え後の川の流れに沿った約20カ所で行う予定で、年度内に完了する見通し。（沖縄タイムス11月3日付より）

馬毛島の軍事基地化に反対する院内集会に参加を

穏やかな空気と豊かな自然に包まれた鹿児島・種子島が、米軍機と自衛隊機の爆音と事故の危険にさらされる島に変えられる危機にあります。種子島の西12キロにある馬毛島（西之表市）を軍事訓練場とする計画が強行されようとしています。反対する署名は全国で約30万筆、人口1万5千人の西之表市で約6000筆も集まりました。八板俊輔・西之表市長も10月7日、計画反対を表明。地元の声を国政に直接届けるべく、代表団が署名をたずさえて上京します。署名提出・政府要請・ヒアリング後に院内集会をおこないます。

11月16日(月) 院内集会 17:00~19:00 参議院会館 1階「講堂」

主催：馬毛島への米軍施設に反対する市民・団体連絡会
協力：総がかり行動実行委員会

お知らせ

安保破棄中央・東京実行委員会 11月の宣伝行動

11月20日(金)12時~13時 場所 新宿駅西口